

各位殿

生きもの調査活動全国実態調査のご協力について（依頼）

寒冷の候、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

私ども NPO 法人生物多様性農業支援センターは全国の田んぼの生きもの調査活動を支援しています。生きもの調査や生物の多様性を育む農業を希望する地域や団体に講師や指導者を派遣しています。更に、インストラクターやアシスタントの人材養成講習会を実施したり、シンポジウム等を開催しています。NPO 設立以前は田んぼの生きもの調査プロジェクトという名称で活動しており、全国の生協、農協、環境団体等が集まり、アジア型の生物多様性活動を目指している組織です。これまで様々な活動を展開してきましたが、生きもの調査に係わる全国の活動実態はなかなか分かりませんでした。全国には生きもの調査の方法についても悩んでおられる方も多く、私たちの動物や植物のポケット図鑑等についても紹介できる機会がありませんでした。

そこで今回、全国各地で生きもの調査活動を実践している NPO 団体、生産者団体、地域活動組織、学校・行政組織等の皆様に対して、「活動内容・活動地域・調査手法等」などの現況をご報告いただき、取りまとめたうえで皆様の活動に役立てていただこうと思いました。

一方、今回の取りまとめは、本年 10 月に愛知県で開催される生物多様性条約締約国会議（COP10）に向けた CBD 市民ネット等の全国の活動にも役立ててもらいたいと思っています。これは 2008 年、韓国で開催されたラムサール条約締約国会議において全会一致で採択された「水田決議」（水田はお米を生産するだけでなく、様々な命を育てている）を履行することであり、更にポスト COP10 に向けての市民ネットワーク活動に大いに役立つと考えています。

今回の調査結果は整理したうえで「生きもの調査活動報告書」として当センターのホームページで公表するとともに、行政の施策にも役立てていただこうと考えています。報告書は地域別、活動内容別に検索機能をもうけ、アンケートにご協力いただいた各位のコミュニケーションツールとしてご活用いただくことも検討していますので、皆様方の絶大なるご協力をお願いします。

平成 22 年 2 月

特定非営利活動法人生物多様性農業支援センター
理事長 原 耕造

アンケート監修

農林水産省 大臣官房環境バイオマス課 地球環境対策室
独立行政法人 農研機構農村工学研究所 農村環境部 環境評価研究室

■ アンケートについて。

- ・ 団体名・個人等の名前、連絡先、活動場所は、当センターホームページですべて公開いたします。公開に支障がある項目については、非掲載の欄にチェックを入れてください。
- ・ アンケートは目的以外には使用いたしません。

■ アンケート回答期限

平成 22 年 3 月末日

早めの回答をお願いします

■ アンケートの答え方 例

設問	記入箇所	非掲載
グループ名 法人格の有無		
所在地・連絡先 等	〒	
	連絡先担当者 氏名 役職・係名等	日本 雨蛙
	電話番号 / FAX	電話 : 03-123-4567 FAX : 03-789-124
	メールアドレス	
	ホームページ URL	
代表者氏名 役職		

非掲載の場合はチェックを入れてください

チェックもしくは塗りつぶしてください。

設問	記入箇所
調査対象の生きものについてお答えください。	<p>調査をしている対象の生きものについて教えてください。</p> <p>調べている生きものについて、すべてチェックしてください。</p> <p><input type="checkbox"/>昆虫（水中） <input type="checkbox"/>昆虫（陸生） <input checked="" type="checkbox"/>は虫類 <input type="checkbox"/>両生類 <input checked="" type="checkbox"/>鳥類（水鳥）</p> <p><input type="checkbox"/>鳥類（陸鳥） <input type="checkbox"/>ほ乳類 <input type="checkbox"/>植物 <input checked="" type="checkbox"/>土壌生物・水中微生物・イトミミズ等</p> <p>・具体的な調査の対象がある場合は、その種名をご記入ください（下記のスペースに書ききれない場合は調査対象のリストを添付してください）。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>